

《胃癌の抗がん剤療法》

無断転載禁止

1 エスワン+ドセタキセル併用療法 予定 12 か月

催吐性リスク	軽度	予定12か月(エスワン単独1コース+エスワン+ドセタキセル併用6コース+エスワン単独の合計)				
1コース目	投与量	肝	腎	経路(分)	1-14	15-21
エスワン	40 mg/m ² /回×2	不明	必要	内服	連日	×

2-7コース目(6回)		投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-14	15-21
エスワン		40 mg/m ² /回×2	不明	必要	内服		連日	×
1	生食 100 ml デキサート 6.6 mg	40 mg/m ²	必要	不要	点滴30分	●		
制吐								
2	㊮ドセタキセル 生食 250 ml				点滴60分	●	×	×
壊死性								
3	生食 100 ml					●		

8コース目以降	投与量	肝	腎	経路(分)	1-28	29-42
エスワン	40 mg/m ² /回×2	不明	必要	内服	連日	×

2 CapeOX 予定 6 か月(8 サイクル) 1 サイクル= 21 日間

催吐性リスク	中等度(上)
--------	--------

薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-15	16-21
カペシタビン	添付文書 C法	軽中 不要	必要	内服	day1夕-day15朝				×
アプレピタントカプセル	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●		
1 グラニセトロンパグ 3 mg デキサート 4.95 mg					制吐	●			
2 エルプラット 5%ブドウ糖 500 ml	130 mg/m ²	不要	軽中 不要	点滴120分	●	×	×	×	×
3 生食 100 ml					●				

3 SP5 (S1+CDDP) 1 サイクル= 35 日間

催吐性リスク	高度
--------	----

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1-7	8	9	10	11	12-21	22~35
	エスワン	80 mg/m ² /日	不明	必要	内服1日2回	21日間					×	
	アプレピタントカプセル	初日125mg、2・3日80mg			内服		●	●	●			
	デカドロン錠 8 mg				内服			●	●	●		
1	生食 250 ml				点滴30分		●					
2	生食 250 ml アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg				点滴30分		●					
制吐												
3	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml				点滴60分		●					
水分 負荷												
4	㊨シスプラチン 生食 500 ml	60 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	×	●	×	×	×	×	×
5	ソリューゲンF 500 ml				点滴90分		●					
6	ソリューゲンF 500 ml				点滴90分		●					
水分 負荷												
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分			●	●			
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分			●	●			

4 トラスツズマブ+SP3併用療法 1 サイクル= 21 日間

催吐性リスク	高度
--------	----

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5-14	15-21
	エスワン	80 mg/m ² /日	不明	必要	内服1日2回	14日間					×
	アプレピタントカプセル	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●			
	デカドロン錠 8 mg				内服		●	●	●		
1	生食 100 ml				ブライミング用	●					
2	㊬トラスツズマブ 生食 250 ml	初回 8mg/kg 2回~ 6mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●					
3	生食 250 ml アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg				点滴30分	●					
制吐											
4	ソリューゲンF 500 ml 硫酸Mg補正液 10 ml				点滴60分	●					
水分 負荷											
5	㊨シスプラチン 生食 500 ml	60 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×
6	ソリューゲンF 500 ml				点滴90分	●					
7	ソリューゲンF 500 ml				点滴90分	●					
水分 負荷											
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分		●	●			
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分		●	●			

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊩ premedication ㊪ route flush ㊫ supportive therapy ㊬ Time control ㊭ washout ㊮ vesicant drug.
 * 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記。

無断転載禁止

5 **XPトラスツズマブ** 1サイクル=21日間

催吐性リスク 高度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4	5~14	15-21	
	カベシタビン錠	1000mg/m ² /回×2	不明	必要	内服1日2回	14日間 (day1夕~day15朝)					×	
	デカドロン錠 8 mg	初日125mg、2・3日80mg			内服		●	●	●			
	アプレピタントカプセル				内服	●	●	●				
1	生食 100 ml	プライミング用				●						
2	生食 250 ml	アロキシ 0.75 mg デキサート注 9.9 mg	制吐		点滴30分	●						
	アロキシ 0.75 mg											
	デキサート注 9.9 mg											
3	トラスツズマブ	初回 8mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●	×	×	×	×	×	
	生食 250 ml	2回~ 6mg/kg										
4	ソリューゲンF 500 ml	水分 負荷			点滴60分	●						
	硫酸Mg補正液 10 ml											
5	シスプラチン	80 mg/m ²	軽中 不要	必要	点滴120分	●	×	×	×	×	×	
	生食500 ml											
6	ソリューゲンF 500 ml	水分 負荷			点滴90分	●						
7	ソリューゲンF 500 ml				点滴90分	●						
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分		●	●				
	ソリューゲンF 500 ml				点滴120分		●	●				

6 **G-SOXトラスツズマブ** 1サイクル=21日間

催吐性リスク 中等度(上)

順	薬品名(略名)	投与量	肝	腎	経路(時間)	1	2	3	4-15	16-21
	エスワン	下記参照	不明	必要	内服	day1夕-day15朝				×
	アプレピタントカプセル	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●		
	生食 100 ml				プライミング用	●				
1	グラニセトロンバッグ 3 mg デキサート 4.95 mg	初回 8mg/kg 2回~ 6mg/kg	不明	不明	点滴30分	●				
2	トラスツズマブ				点滴90/30分	●	×	×	×	×
	生食 250 ml									
3	エルプラット	100 mg/m ²	不要	軽中 不要	点滴120分	●	×	×	×	×
	5%ブドウ糖 500 ml									
4	生食 100 ml					●				

7 **mFOLFOX6** 1サイクル=14日間

催吐性リスク 中等度(上)

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-14
	アプレピタントカプセル	初日125mg、2・3日80mg			内服	●	●	●	
1	グラニセトロンバッグ 3 mg デキサート 4.95 mg				点滴30分	●			
2	エルプラット	85 mg/m ²	必要	透析 不可	点滴120分	●	×	×	×
	5%ブドウ糖液 250 ml								
3	レボホリナート	200 mg/m ²	不要	不要	点滴120分	●	×	×	×
	生食 250 ml								
4	フルオロウラシル	400 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	全開	●	×	×	×
	生食 50 ml								
5	フルオロウラシル	2400 mg/m ²	重度 考慮	重度 考慮	点滴46時間		●		×
	生食 1000 ml								
	生食 100 ml				最後の流し			●	

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊩ premedication ㊪ route flush ㊫ supportive therapy ㊬ Time control ㊭ washout ㊮ vesicant drug.
 * 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記。

無断転載禁止

8 サイラムザ±wPTX 1サイクル=14日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16~28
1	ポララミン 5 mg ファモチジン 20 mg デキサート 8.25 mg 生食 100 ml	抗アレルギー 制吐			点滴30分	●	●	●	
2	生食 100 ml	プライミング用兼ルートフラッシュ				●		●	
3	㊦㊪サイラムザ 生食 250 ml	8 mg/kg	不要	不要	点滴60分	●	×	●	×
4	生食 100 ml	後フラッシュ/2コース目までは観察期間60分				●		●	
	生食 100 ml	抗アレルギー薬のインターバル			点滴30分		●		
6	㊦㊩㊪㊮パクリタキセル 生食 250 ml	壊死性 80 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	●	●	×
7	生食 100 ml					●	●	●	

9 weeklyPTX 1サイクル=28日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16~28
1	ポララミン 5 mg ファモチジン 20 mg デキサート 8.25 mg 生食 100 ml	抗アレルギー 制吐			点滴30分	●	●	●	
2	生食 100 ml	抗アレルギー薬のインターバル			点滴30分	●	●	●	
3	㊦㊩㊪㊮パクリタキセル 生食 250 ml	壊死性 80 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	●	●	×
4	生食 100 ml					●	●	●	

10 CPT-11 1サイクル=28日間

催吐性リスク 中等度(上)

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2	3	8	9	10	15	16	17	18-28
	アプレピタントカプセル	制吐			内服	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
1	デキサート 4.95 mg グラニセトロンバッグ 3mg	制吐			点滴30分	●			●			●			
2	イリノテカン 生食 500 ml	100 mg/m ²	必要	透析不可	点滴90分	●	×	×	●	×	×	●	×	×	×
3	生食 100 ml					●			●			●			

11 3wDOC 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21
1	デキサート 6.6 mg 生食 100 ml	制吐				●	
2	㊦㊮セタキセル 生食 250 ml	壊死性 60 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×
3	生食 100 ml					●	

12 オブジーボ単剤療法 1サイクル=14日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-14
1	生理食塩液 100 ml				点滴30分	●	×
2	㊦㊮オブジーボ 生理食塩液 100 ml	240 mg/body	軽度 不要	不要	点滴30分	●	×
3	生理食塩液 100 ml					●	×